

《研究課題名》

FDG 超高集積を示す病態に関する検討

《研究対象者》

2019年1月1日から2022年9月30日に滋賀医科大学医学部附属病院でFDG-PET/CT検査を受けられた方。病理診断により病名が確定されていない方は対象となりません。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学医学部附属病院においてすでに保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》 FDG 超高集積を示す病態に関する検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2027年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 放射線科 瀬古 安由美

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

FDG-PET/CT 検査の悪性腫瘍診療における診断的有用性は確立しており、日常臨床に欠かせない診断ツールとなっています。一般的に悪性腫瘍には FDG が強く集積することは広く知られています。特にリンパ腫は FDG が強く集積することが知られています。日常臨床において、FDG 集積が強い病変の中でも、飛び抜けて FDG 集積が強い(=SUV 値が高値)病変に遭遇する事があり、それらの中にはリンパ腫以外の病変も含まれています。FDG 超高集積を示す病態は病変のどのような特徴を反映しているのかを明らかにすることにより、病態の理解を深めることができると考えています。

《目的》

FDG 超高集積を示す病態の臨床像を明らかにすること。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

FDG-PET/CT 検査,CT,MRI の画像と病理診断結果を後方視的に比較検討する。

《利用し、又は提供する情報の項目》

FDG-PET/CT,CT,MRI の画像データ

病理組織所見

臨床経過

オプアウト

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 放射線科 瀬古 安由美

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2288

メールアドレス：ayumis@belle.shiga-med.ac.jp